第204号

発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回15日
定価 1部 5円

なかさと

7月1日現在

人口	7,383(＋4)
男	3,644(＋2)
女	3,739(＋2)
世帯数	1,693(－1)

カッコ内は前月との比較

第三回村議会定例会開かる

一般会計予算六億八千万円に

村税条例の一部改正も

去る六月二十五日九時より、役場議場において、第三回定例村議会が、会期一日の日程で開かれ、中里村税条例の一部を改正する条例等四件の条例案及び昭和四十八年度一般会計、国保事業、簡易水道事業各会計の補正予算案並びに工事請負契約の締結についての議案のほか、議員提出による、地域医療を守るための国保診療施設等市町村病院の財政措置の強化についての意見書、昭和四十八年度生産者米価値上げに関する意見書の提出があり、それぞれ慎重に審議された結果、いづれも原案どおり可決されました。

付議事件の主な内容は次のとおりであります。

補正予算関係では、公共事業及び、県、村単独事業のほとんどが契約又は設計、見積り等により、それぞれの経費が内定したこと及び、昭和四十七年度の出納閉鎖により剰余金が明らかになったこと、等により、当初予算編成時の懸案事項を整理し財源の許す範囲において村民の要望に応えることを主眼として編成されたものであります。各費目別では、総務費五、五千円で、交通安全対策及び一般管理費を追加補正し、民生費は、二、三八八千円で、清津峡保育所の新設、老人福祉費等であり、衛生費二三六千円は、住み郷中里分会の補助金その他で村内の環境衛生管理を充実することとしております。

農林水産業費においては、重点開発事業補助、アメシロ防除機の設置等の農業振興費一、九七六千円、村単農業生産基盤整備事業費一、二〇〇千円、地籍調査費三、〇六二千円、苗場山ろく開発推進事業費一、二六六千円、林道開設等林業費二、〇七五千円、となっております。

商工費は、一二四千円で、就労状況調査の費用が計上されております。土木費の追加額は、一、七〇〇千円であり、村道の補修、除雪用ブルドーザの設置等道路補修費六、八八〇千円、道路新設改良費四、八二〇千円で、村道の生コン舗装費や、電柱移転補償料等が含まれております。

教育費では、小中学校共、学校無人化に伴う防火防犯施設費が主で、一九八四千円、清津峡小学校プール工事費五二〇千円、田沢中学校グランド拡張と水路補強七五〇千円、貝野中学校球除けネット四五三千円などとなっております。社会教育費においては、埋蔵文化財発掘のための経費八九五千円が計上されておりますが、その大部分は、国、県の補助によるもので、位置は高道山の圃場整備地域内にあります。その他林道災害復旧一ケ所四五〇千円があり併せて、一、六六九千円となっております。本年度一般会計予算の総額は、六八二、九二〇千円となります。

補正財源は、地方交付税二、〇〇〇千円、国庫支出金三、三四五千円、県支出金五、二二七千円、繰越金一六、〇八三千円、その他二、八一四千円となっております。

国民健康保険事業特別会計の補正額は、基金積立金一二〇千円の追加、又簡易水道事業特別会計では、八三三千円で、東田尻、倉俣芋川、倉下、各水道の配、送水管の布設替工事費の追加補正で、財源はいづれも前年度の繰越金を充てることになっております。

条例改正では、特別土地保有税の創設と、固定資産税の免税点の引上げ（土地一五万円、家屋八万円、償却資産一〇〇万円）による、中里保育所、清津峡保育所の新設による、中里村税条例の一部改正、中里保育所、清津峡保育所の新設による、中里村保育所条例の一部改正のほか、二件の条例の一部改正がなされ、又条例により議会の議決に付すべき工事請負契約が、次のとおり議決されました。

高道山地区圃場整備工事
契約金額 二、七〇七〇千円
請負者 大村建設株式会社

重地地区圃場整備工事
契約金額 一二、五〇〇千円
請負者 (有)高橋工務所

程島白羽毛地区圃場整備工事
契約金額 一四、九二〇千円
請負者 (株)丸山工務所

林道小出細戸線開設工事
契約金額 一六、四五〇千円
請負者 (有)高橋工務所

バットリ君

ソッと、さわってみたくなる

通称、モモンガーあるいはバットリと呼ばれ、夜行性で木の上から下に飛ぶが、下から上には、飛べない。上に登る時はリスのごとく、「ススッ」とかけ登る。食ものは、木の実、木の葉、木の皮などを、このんで食べる。

クルクルした
大きなオメメが愛らしい
大きなシッポピンと立て
ヒョコヒョコ

「善意の人びと」「善意をうけての体験者」募集

◇「善意の人びと」募集

一、主 旨

最近の世相の中では、「小さな親切も大きな勇気で」といわれるように、地道な善行を継続的に実践することは、ほんとうに尊いことであります。

そこで前回に引き続き、県内各地で明るい社会づくりに励む善意の人びとを推薦していただき、選定の上、第三回「明るい社会づくり推進新潟県大会」の席上で表彰し、労をねぎらうと共にその功績をたゝえ、私たちの模範として本運動推進の一助とするものであります。

二、推薦規定

①対象～新潟県内に在住し、まごころをもって人のため、社会のために善行や奉仕活動を継続することによって、明るい社会づくりに貢献している個人、またはグループ、団体等。

②推薦方法

あの人はこうしている、私たちはこうしてきた、私はこういう人を知っている等、その善意の人びとの住所、氏名、性別、年令、職業及び活動内容をくわしく記入し（写真、その他資料があれば添えて）提出してください。

・なお推薦者の住所、氏名、性別、年令等も明記してください

・第二回大会の推薦者で表彰されなかった方もご推薦ください。

三、表 彰

九月二十日（日）県民会館における第三回「明るい社会づくり推進新潟県大会」の席上で賞状及び記念品を贈り、その功績をたゝえます。

四、締 切

昭和四十八年八月十日当日消印有効

五、提出先

新潟市東大通り一ノ三（新潟駅前）安出生命ビル四階

明るい社会づくり新潟県推進会事務局 郵便番号九五〇

六、その他

①受賞者 入選者 推薦者には直接通知し、この方の大会当日の旅費は主催者で負担します。

②応募原稿、資料等は返却しません。これらの一切の権利は主催者が所有します。

◇「善意をうけての体験者」募集

一、主 旨

私達の社会は、一見豊かな明るい社会になったかのように見えます。しかしその反面、世代の断絶、交通禍、公害等、新しい人間の不幸が大きく口を開いているそうです。

しかし、そのかげにも幾多の美しい善意の活動が行なわれ、明るい社会づくりに貢献しております。今回はその美しい真心からの善意活動を身につけての体験を募集し、大会席上で発表していただき、明るい社会づくりを推進する啓蒙運動の一助といたしたいと思います。

二、応募規定

①資 格

新潟県内に在住する方で、年令、性別は問いません。

②内 容

題名は自由であるが、次の項目が含まれていること。

・人からうけた善意の内容とその善意を受ての感激

・その後自分は、このように活かしている。こう実行している等、具体的な体験であること。

③応募方法

・発表しようとする意見を四百字詰原稿用紙五枚以内に記入し送付する。

・原稿には、表紙をつけ、題名、住所、氏名、職業（または学校名、学年）年令、性別を明記すること。

・氏名が、ペンネームのときは本名をカッコ書きにしてください。

物価安定推進のしおり

物価を抑える そのすべは
人を責めても 効目なし
一億こころを 改めて
心の時計を百年前に
逆に戻して その時の
人の心に還りなば
必らず さがる生活費
取り得たお金は浪費を避けて
日頃のくらし 省りみて
見栄張病や オシャレ病
独占病等 縁を 絶ち
日用品や 食料品
衣服装身 化粧品
値打のないもの買わぬこと
間に合う限り買わぬこと
だれが名づけた消費は王と
罪なおだてに乗せられて
一度は乗った王様も
今はくらしの敵となり
はなやかなりし消費の王は
城からおりて 貯蓄に励み
尊徳精神再び生かせ
たとえ不況が来たとても
耐えねばならぬ一億人
忍耐こそが世を直す
くらしの敵はぜいたくぞ
忘れてならない二億人
今真ぐそのみにならなけりゃ
暗い前途が待つばかり
一億人上目をさまし
大地につけようくらしの足を
貯蓄のお金で国造り
社会投資に、おしみなく
農林漁業の基盤を強め
産業基盤も適正に
福祉施設を充実し

物価を抑えよと、如何に大声で叫んで見ても一億国民の心を改めねば、これを抑えることは出来ない。心ある一部のものだけではどうにもならない。このまゝでは、日本経済を破綻に導き収拾のつかない混乱を惹き起すような、ことがないとは限らない。もしそのような、ことが起きたら大変だ。

民主を義に名を仮りて右か左かの独裁政治が生れ、批判どころか、国民は物も云えないようになったら国民は、牛馬のように扱われてしまう。

このような危険を防ぐには一億の国民は、グット心を引締めることだ。ある商店では、値段の高いものから先に売れるという。安い値段のものが売れ残った時は、高い値札に取替えれば売れるという。観光地などでは豪華な宴から先に決るという。

主として、勤務者向けの国民休暇村などでも、宿泊料の高い室から先に決るという。

このように、高い消費をしてなったら国民は、牛馬のように一百三満悦している者が、多勢い

あなたも ぜひ、点訳奉仕者に

ダイヤモンドと点字図書を並べてどちらを取るか、といわれたら「点字図書を取る」とある盲人はハッキリと言いました。

現在、十日町市及び中魚沼郡の身体障害者は約千五百人、そのうち盲人は約二百人といわれています。光を失なったこの多くの人々は、少しでも社会の動き、地域での出来事、又、文学作品等に接しられる文化的な生活を求めていられるものと思います。しかしながら同地方には点字図書もなくわずか注文するか、点字図書館から借りなければなりません。又、図書を点訳してくれる点訳奉仕者の方も一人もおりません。

そこで、目の不自由な人も社会から隔離されることなく、もう一つの世界を知ってもらうために、図書を点訳してくれる点訳奉仕者の方を求めます。

熱意のある方は、役場社会課又は、中魚沼社会福祉事務所までお申し出下さい。

人生往来

◎誕生

氏名	父の名	部落
富井 貴浩	勇	市之越
桑原 英毅	朝平	田代
鈴木 美佳	新一	角間
山田 祐子	正人	田代
上原 暢輝	康夫	通り山
広田 順子	潔	田中

◎高砂

〜新郎井ノ川和夫（三五）如来寺
〜新婦熊木秀子（三三）十日町

〜新郎鈴木宗雄（二四）重地
〜新婦佐藤マヌ子（二二）十日町
〜新郎南雲茂政（二四）堀之内
〜新婦岩月ちよ子（二二）松代町

◎昇天

氏名	年令	部落
中島 フサ	(五五)	本屋敷
高野 光春	(一八)	芋沢
井ノ川ジャウ	(八五)	本屋敷
滝沢 松繁	(八一)	田代
鈴木 タツ	(六六)	倉俣
山本 賢之	(四二)	小出
中島 熊蔵	(八七)	本屋敷
斎藤 キミ	(七三)	倉俣

る限り、物価の安定は望めない

一億国民が、ここで過去の生活を反省し、物の価値を見つめ消費の王様は城から、おりて勤倹貯蓄の精神に改めねばならない。もし、このため、不況が来たとしても国民は騒がず、ジット堪えねばならない。このようにして、積った貯蓄に依って、社会資本を充実しなければならない。

◎物価安定推進連盟

東京都足立区竹塚一、三、三四
責任者 鈴木梅太郎（二二五才）
中里村重地出身

建設常任委員 村内巡視する

中里村議会建設常任委員会（大島芳信委員長）では、藤田村政によって自覚ましく進展した道路行政に、なお協力したいものと、去る五月十四日十五日十六日の三日間役場建設課の応援を求め、村内各部落の主として道路事情について巡視、各部落の要求をきく等この実態が把握でも区長、役員、方々の積極的な案内説明を得て、この日程を終了、早速この資料を調整、結果を村長に報告、地域の発展と産業の振興には先づ道路の開発整備からという村長の考え方から、これらについて早速地元民共同施設を手に使い、便所を常に清潔にして置くためもっと汲取りの回数を増すことを、お願い致します。

お願い し尿汲取りについて

みなさま方、家庭のし尿汲取りは、清掃業者に委託し、処理は清掃センターで行っておりますが、みなさま方が汲取りを行なう時期が、春は四月、五月秋は十一月、十二月に集中しているため、清掃業者は車が不足し清掃センターでは、処理能力が上回るため、困っております。なるべく、六月から十月の間に汲取りを、お願いします。特に七月頃汲取りを行ないますと夏のハエ発生防止に非常に役立ちます。また料金は一リットル当り三十二円で、汲取り回数が多くなっても料金が多くなることはありません。かえって、みなさんには一度に多額の費用がかからないので、一時的な負担が軽くなると思います。みんなの

◎津南清掃社 ☎一三六五

河川や山林等に廃棄物を捨てないように

役場保健課

中里村では、津南町、松之山町、長野県栄村と共同で、津南町に清掃センターをつくりみなさま方の廃棄物を回集し、処理しております。このため、村では、本年度三百万円の予算を計上しております。しかし依然として、河川や山林等に捨てる人があとを断ちません。

このような所に捨てると他人

されず、急を要するものについては先般の六月定例議会に、補正予算案として提出され、原案どおり決定、近く実行される運びとなりましたことを報告いたします。

に迷惑がかかるので法律で懲役又は罰金刑が課せられることになっております。そこで、みなさんから、次の事を実行していただきたいのです。

①自分で処理できる廃棄物は自分で処理しましょう。（新聞紙雑誌、ダンボール等は先却し日常のゴミは多くならないうちに庭等で焼却しましょう。）

②廃棄物は、もえる物と燃えないものに分け、定められた日時に従ってゴミステーションに出す習慣をつけましょう。

③きめられた日以外の日にどうしても棄てなければならない大量の廃棄物が出た場合は、お予数でも津南清掃センターまで、お運び下さい。工場、建設業などから出る廃棄物以外は、無料で処理してもらいます。

④河川や、山林に捨てた人を発見した人は、捨てた人の住所、氏名、車のナンバー等を、役場

第12回 世界大会に斉藤栄子さん参加

来る七月二十一日から二十八日までの八日間、スウェーデンのマルメ市で開かれる第十二回世界ろうあ者競技大会に、中里村通り山出身の斉藤栄子さん（十九）が選ばれた。

斉藤さんは、現在県立長岡ろう学校の専攻科二年生で、勉強とスポーツを両立させて、四十五年全国ろう学校卓球大会女子個人優勝、四十六年二位、四十七年優勝、今年世界大会派遣選手選考会、女子個人優勝という輝しい優勝歴を誇る選手であり県で世界大会の派遣選手として推薦し、日本身体障害者スポーツ協会において、総合選考の結果、派遣選手として決定し、今大会の卓球の部に、日本代表メンバー七人の一人として参加することになった。中里村はもちろん、新潟県下でも、初めてとあって、学校関係者、県、村関係者は「ぜひがんばってほしい」と声援を送っている。

斉藤選手は、七月八日から四日間、東京で強化合宿、十二日結団式壮行会、十三日午後十時半東京出発、十四日マルメ市に到着、七月二十一日から二十八日まで世界大会に参加し、七月三十日から八月十一日まで、ヨーロッパ各国の見学、交歓会に出席し、八月十二日アムステルダム（オランダ）出発十三日東京着の予定になっている。

なお、この世界ろうあ者競技大会は、四年に一回開かれるものです。（写真は、去る四月役場議場において、壮行会が行なわれた時の一コマ）

水難防止について 増水したら早めに退避

国鉄信濃川発電所

国鉄輸送の重要動力源である当所の発電業務につきましては常々多大のご理解とご協力をいただき、この紙上をおかりしてお礼申し上げます。

さて、本格的な夏を迎え、水泳や釣りの機会が多くなり、まず保健課又は警察の方に通報して下さい。

⑤その他廃棄物のことで困っていることや、わからない事は役場保健課又は部落の衛生推進委員にお問い合わせ下さい。

宮中の取水ダムは貯水式のダムと違い、上流から来た水を貯水することはできません。従いまして、降雨などで上流からの増水した分は、ダムの水門を徐々に開いて、自然の姿で下流に放流しておりますが、次のような場合には、自然の増水が急速なので、最も危険ですから、十分ご注意下さい

①降雨などで増水し、ダムから放流するとき。

②発電所が故障のため、調整池の水を余水路から信濃川に放流するとき。

③洪水のとき

以上のときは、信濃川沿岸の警報用サイレンを吹鳴し、水難防止に細心の注意を払っておりますが、サイレンが聞こえなくても増水したら、早く退避することにより、悲しい水難事故を防止するよう、ご協力をお願いいたします

子宮ガン検診 八月二日田沢小で

来る八月二日、田沢小学校において、子宮ガン検診が行なわれます。先生は、一の宮一也先生、料金は一人百円です。

第19回 中魚沼郡十日町市 社会教育大会ご案内

来る七月二十二日（日）津南町総合センターにおいて、郡市社会教育大会が開かれます。

社会のしくみや、うつり変りがはげしく、毎日の生活もどんどん変化し、経済の高度成長がなされ、家庭に文化器具がそろってゆたかに見えても、これと共に成長しなくてはならない心や、ものの考え方はさっぱり進展しない。そしてお互いのたすけあいや、生活のうるおい、共同生活意識などは欠けつつある

今回はこうした問題をとり上げて、ほんとに住み心地のよいゆたかな郷土にするために話し合い、意見を交換し、立派なご意見の持主である講師先生のお話をおきゝする大会にしたいと考えます。村民のみなさん方から、多数ご参加下さいますようお知らせ致します。

記

①日時 昭和四十八年七月二十二日(月)午前九時三十分より

②場所 津南町総合センター

③講演 「現代社会と連帯性」

④講師 寒河江善秋先生

○先生の略歴

日本レクリエーション協会参与

勤務青少年グループワーク協会理事

なお、当日会場で、中食（パン牛乳）を販売いたします。

成人式挙行さる 出席者 六十七名

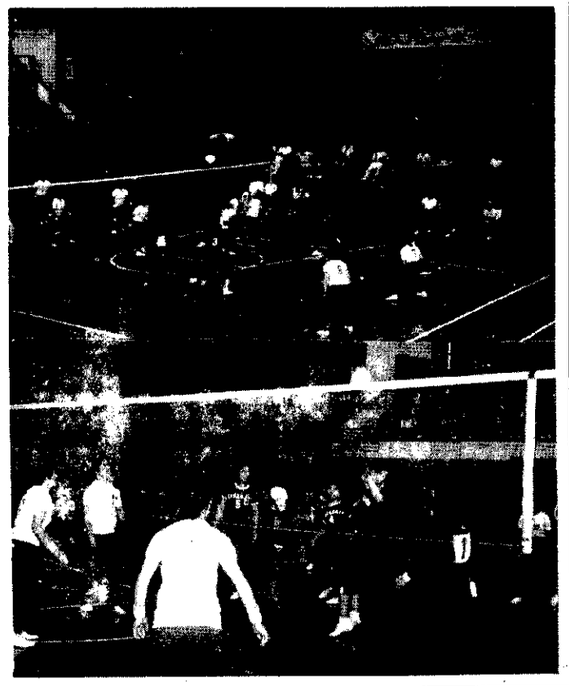
去る七月二日、中里村役場議場において、中里村成人式がおこなわれました。当日は、公民館長さんの式辞にはじまり、村長さん、村議会議長さんの祝辞記念品のアルバムの贈呈（村長さんが「温故知新」と書かれたものをアルバムの一頁目に印刷したもの）成人者代表の謝辞、役場屋上においての記念撮影、県立北都工業短期大学助教授、風間忠雄先生の「青年と生きがい」というテーマで約一時間二十分程講演をしていただきました。また、祝賀会には教育長さんの乾盃の音頭ではじまり、短かい時間でしたが、皆んな無事成人になられたことを喜こび、これを一つの契機として、前向きの姿勢で地域発展のために頑張ろうと、和気あいあいのうちに散会しました。（写真は、成人式の一コマ）

村長さんから、祝辞を受られる一コマ

県民スポーツの日の行事 郡市婦人バレーボール大会で 中里チーム準優勝

新潟国体総合優勝を永く記念するため県民スポーツの日を制定し、県民の参加を得てスポーツ行事を実施し、県民の健康並びに体位の向上をはかり、県民生活を明朗にしょうとするという趣旨で始められた県民スポーツの日の行事も今年で九回目を迎えましたがその行事の一端として十日町市、中魚沼郡婦人バレーボール大会が、六月二十四日十日町市民体育館において、十日町、津南、川西各二チーム中里二チーム計七チームの参加で行なわれました。

試合は、各市町村を二ブロック（Aブロック四チーム・Bブロック三チーム）に分かれてリーグ戦が行なわれ、中里チームは、Aブロックで優勝、決勝戦は、Bブロック優勝の十日町Aチームとの間で行なわれ、中里チームはおしくも破れましたが準優勝というりっぱな成績をおさめました。（写真は川西チームとの熱戦の一コマ）



県青年大会郡予選 女子バレー優勝 上位大会出場へ

去る六月二十四日、田沢小学校体育館において卓球の県青年大会中魚沼郡予選会が行なわれました。

大会は三町村七名ずつの代表選手により、団体戦、個人戦に熱戦が繰り広げられましたが中里チームは団体戦三位でおしくも上位大会の出場権は得られませんでした。

また津南町総合センターで行なわれたバレーボール大会では女子が優勝したのを始めとして男子が二位、川西町営グラウンドで行なわれた野球が二位、十日町の武道館で行なわれた剣道は団体戦で二位、個人戦で一位に南清ノ助氏（貝野小）三位に広田慎一氏（千溝）がそれぞれ入賞するなど各地で好成績をおさめました。

この結果、野球、卓球、排球（男子）と剣道は川西町が、排球（女子）は中里村がそれぞれ上位大会への出場権を得ました

親子文庫図書購入

去る七月四日、公民館ではへき地親子文庫図書を購入しました。この親子文庫図書とは、親子が一緒になって本を読むという機会を与えようという趣旨のもとにはじめられたものです。公民館では、県から補助を受け親子文庫をはじめてから三年目を迎え村内の各小学校に全部設置しました。四日には各分館長さんが、一日中かって本の選定をしていただきました。なお選定した本は、新規に土倉分校へその他は各小学校に配分されます